

資料-2

第16回平取ダム地域
文化保全対策検討会
平成26年9月25日

第16回 平取ダム地域文化保全対策検討会

「地域文化に係る調査・検討」について

平成26年9月25日(木)



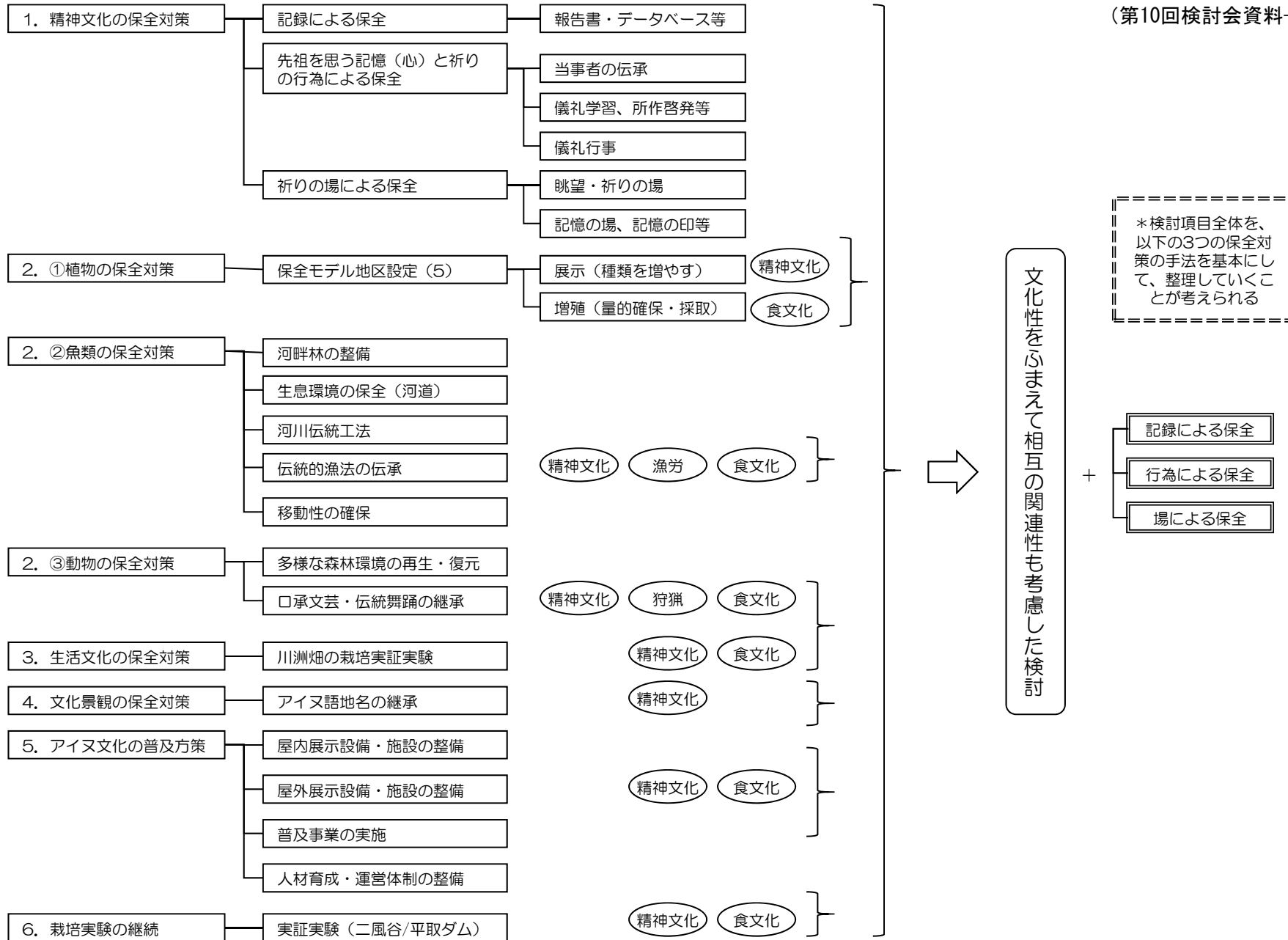
イランカラッパ
「こんにちは」からはじめよう。

■検討項目

1. 精神文化への対応
2. 生物の生存環境への対応
3. 生活文化への対応
4. 文化景観としての地形・事物・事象への対応
5. 保全対策に係るアイヌ文化普及への対応
6. 栽培実験の継続への対応

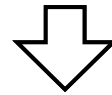
検討項目に関するこれまでの調査・検討状況について

(第10回検討会資料-3より引用)



地域文化に係る調査・検討の流れ

1. 地域文化に係る保全対策の基本的考え方の検討



2. 地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

(1) 基礎調査の実施

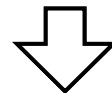
- ・ 地域の関係者の意向調査
- ・ 現地の保全対象の調査

(2) 試行調査の実施

- ・ 川洲畑、伝統漁法の再現調査
- ・ 地域文化普及方策の試行調査
- ・ 「記憶の印」周辺の保全対策調査

(3) モニタリング調査の実施

- ・ 有用植物移植試験及びモニタリング調査



3. 地域文化に係る保全対策の規模・時期等の検討

平成25年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

①平成25年7月17日（水）第14回 平取ダム地域文化保全対策検討会



- ・ 地域文化に係る調査・検討について
- ・ H25年度調査に関する審議

② 平成25年10月4日（金） 現地視察



- ・ 緑化試験箇所視察
- ・ 記憶の場視察
- ・ S-O5整備状況
- ・ 川洲畑（芽生地区）
- ・ カムイワッカ

③ 平成26年3月18日（火）第15回 平取ダム地域文化保全対策検討会

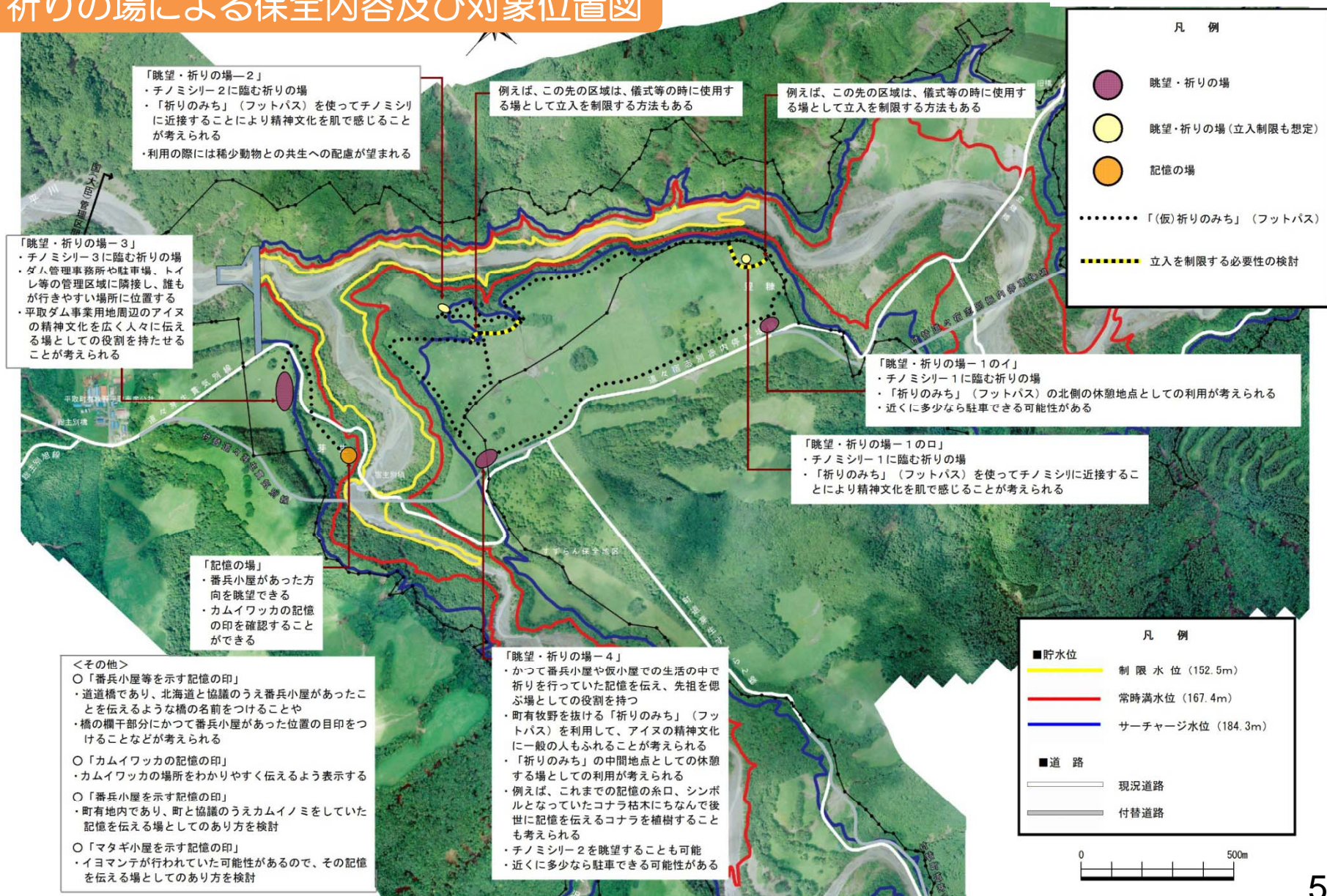


- ・ H25年度までの検討状況報告

平成26年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

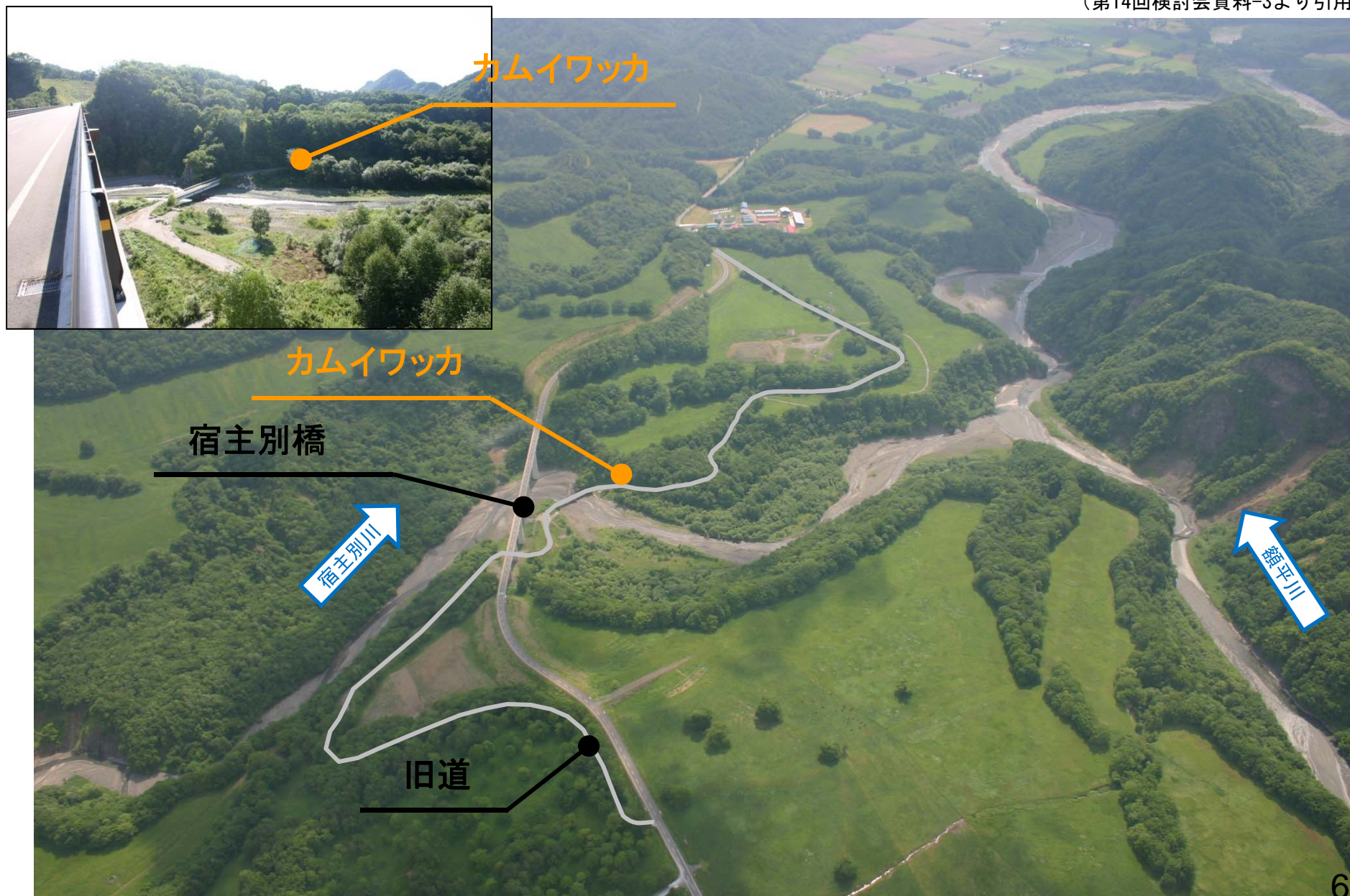
祈りの場による保全内容及び対象位置図

(第15回検討会資料-3より引用)



平成26年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

(第14回検討会資料-3より引用)



カムイワッカの検討状況

(第14回検討会資料-2より引用)

◆カムイワッカの保全対策の基本方針

①カムイワッカの形状保全と周辺の緑化

カムイワッカに対してはダム湖の水位変動や結氷等に伴う土壌浸食による影響が懸念される。このため、周辺の自然石などを利用した石組みなどによる補強や、侵食に強い植生基盤や耐水性に優れた樹種の導入による湖岸緑化を検討し、周辺の自然景観との調和に努める。

②カムイワッカの利用

運用水位の低い時期（4月～11月）における地域の利用を想定し、採水などの利便性に配慮した検討をする。記憶の場等へのカムイワッカの案内板設置による文化継承を図る。

平成26年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

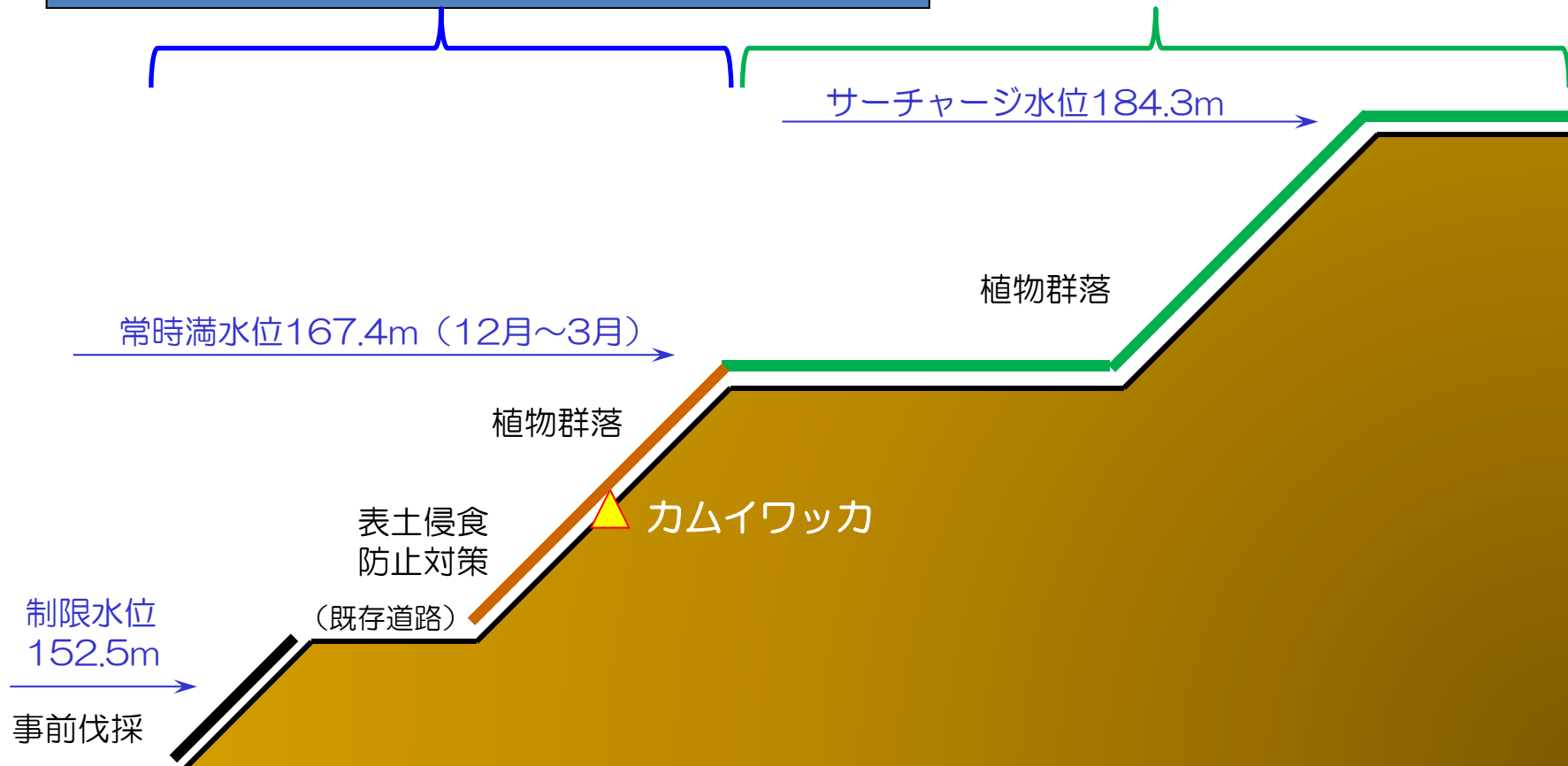
◆カムイワッカの保全対策の構成イメージ 侵食対策

1区

- ・ 在来種等による湖岸緑化
- ・ 冠水により枯死する可能性が高い樹木は事前伐採する
- ・ カムイワッカ周辺法面の保護と景観保全を目的に表土の侵食対策を行う。
- ・ 石組み等によるカムイワッカの保全

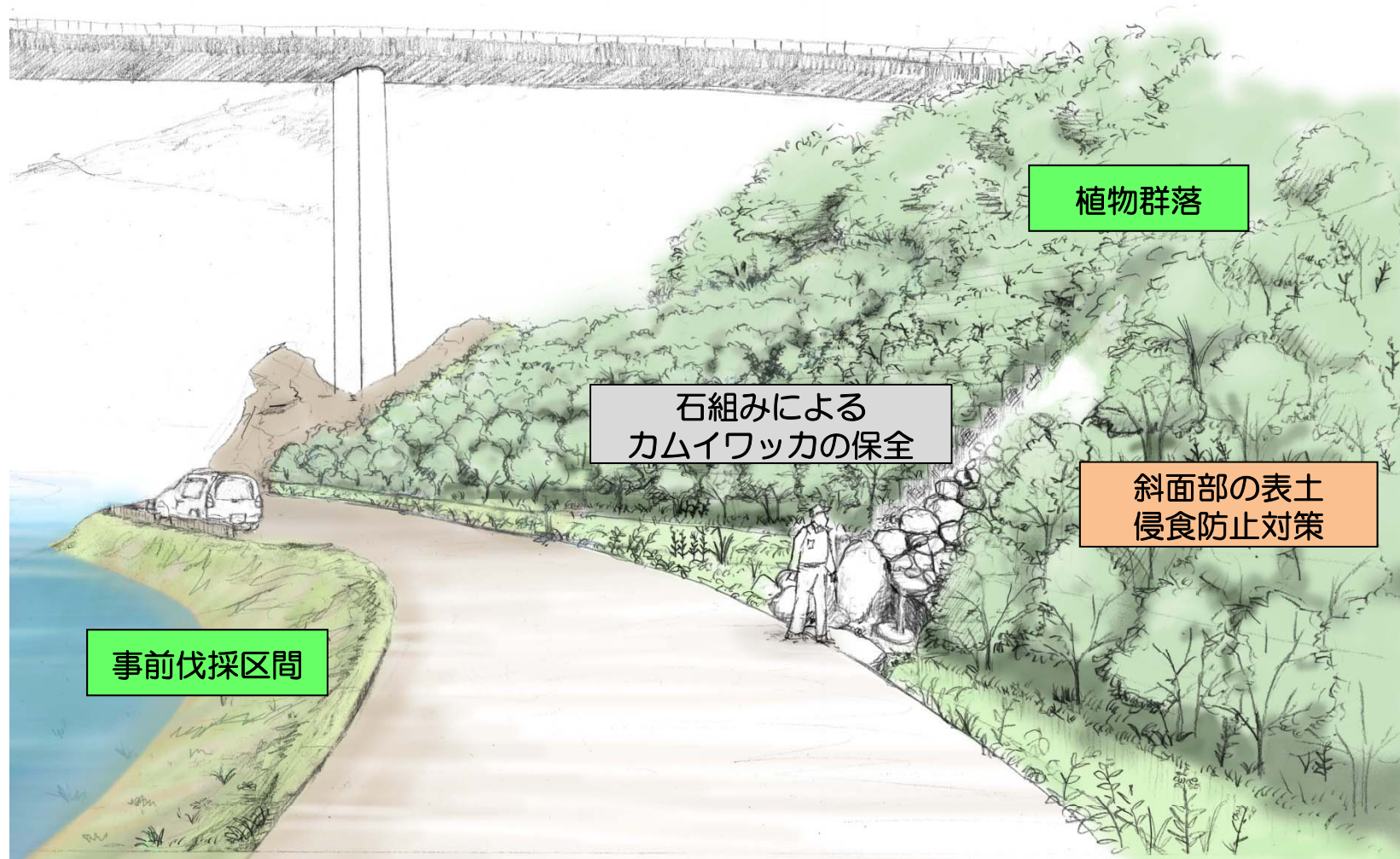
2区

基本的に既存樹林の保全を図る。試験湛水により枯死する可能性が高い樹木は事前伐採する



平成26年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

カムイワッカ 保全対策イメージ



平成26年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

- カムイワッカからの距離、眺望、アクセスの観点から比較を行い、案内板の最適箇所を選定する。カムイワッカからの距離、アクセスの観点から旧道道沿いのカムイワッカ西側に設置する。



フットパスの検討状況

◆フットパスの基本方針

目的

「眺望・祈りの場」や「記憶の場」の保全と併せ、それらを結ぶ小径を整備することにより、アイヌの精神文化の保全を図る

①フットパスの整備方針

4つの眺望祈りの場へと容易にアクセスできるルートを設定し、日常生活の中で快適に歩くことの出来る安全な道を整備する。また、地元の方々の利用や管理面に配慮し、必要に応じて車輜の通行が可能な形態をとる。

②誘導サインと案内サインのデザイン方針

- ・ 解説の内容は、アイヌの人々に加え、アイヌの人々以外の理解も深める。
- ・ 既設解説板との整合性に配慮する。
- ・ 文章をわかりやすく、効果的に写真や図を用いる。

平成26年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

眺望・祈りの場を結ぶフットパスイメージ



平成26年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

眺望・祈りの場保全対策の整備イメージ（眺望祈りの場4）

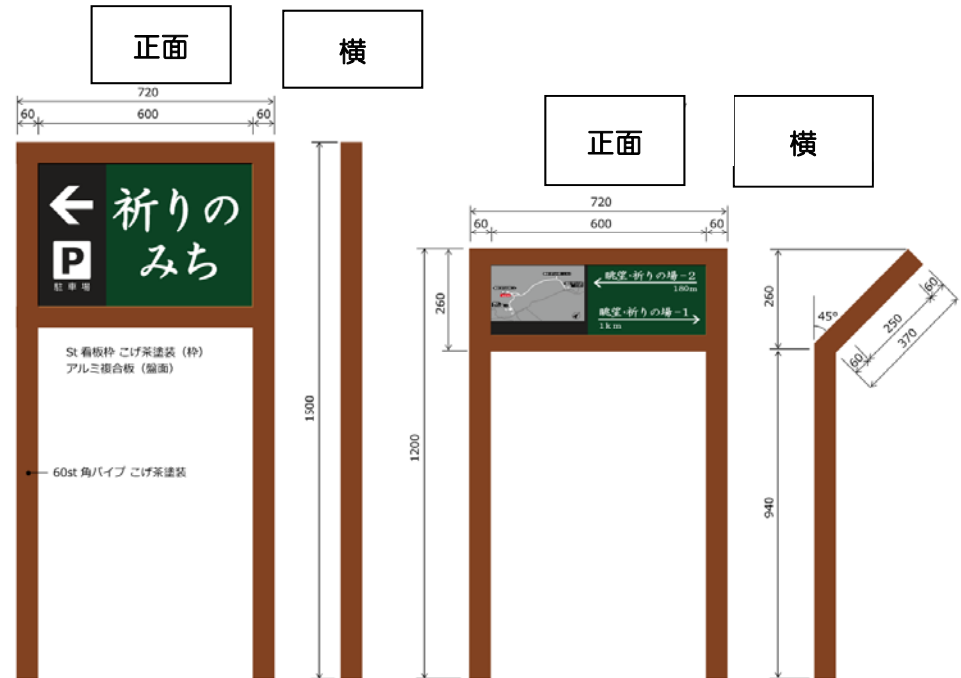


平成26年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

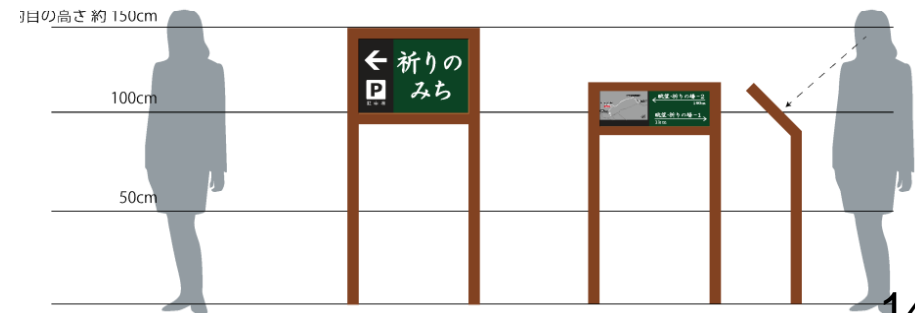
看板イメージ



ルート看板イメージ



高さイメージ



平成26年度の調査・検討内容について

保全対策 検討項目	保全対策の基本的な 考え方	H26年度調査・検討予定
精神文化	記録による保全、 記憶と祈りの行為による 保全、 祈りの場による保全 等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域関係者の意向確認結果に基づき、精神文化の保全対策に必要な調査を実施し、調査内容を整理する ・収集した情報の保管活用に向けた検討を行う。
生物の 生存環境	植物の保全地区設定 等	<ul style="list-style-type: none"> ・植生保全区S-05地区の整備計画案に基づき、移植等を実施し、活着等の生育状況を確認する ・植栽計画を精査し、必要に応じて配置の再検討を行う ・動物の伝承に関して沙流川流域で継承されている口承文芸や踊りに関する情報収集を行う。
生活文化	伝統農法(川洲畑)の継承、 伝統漁法の継承 等	<ul style="list-style-type: none"> ・かつての栽培様式(川洲畑)について、既存の調査結果を踏まえて、試験適地の選定、栽培試験の実施、モニタリング調査を行う ・食文化の再現調査を行う ・川洲畑調査マニュアル(案)を更新する
		<ul style="list-style-type: none"> ・かつての伝統漁法の漁具や漁法を再現する ・食文化の再現調査を行う ・調査結果をとりまとめ、伝統漁法再現マニュアル(案)を更新する
アイヌ文化 普及	地域文化の普及 等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化を伝承できる方策としての資料を作成する ・資料を用いて関係機関・施設を対象に試行調査を実施する ・収集した意見・感想等を踏まえた資料の修正及び調査結果のとりまとめを行う
栽培試験の 継続	実証試験の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・有用植物の移植試験及び播種栽培試験を行う ・有用植物の種ごとの移植栽培マニュアル及び播種栽培マニュアルを更新する ・モニタリング調査及び試験地の整備作業 ・モニタリング計画の更新